



LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

自由民主党ホームページ www.jimin.jp

(前)環境大臣政務官

まこと

おにき誠

特集号

衆議院議員

まこと
おにき誠衆議院議員は、平成27年10月の第3次安倍改造内閣において、環境大臣政務官という政府の役職に就任しました。以来、平成28年8月の任期終了まで、環境分野において目覚ましい活躍を見せました。今号では、おにき誠衆議院議員の環境大臣政務官としての仕事を特集いたします！



PM2.5対策に国境を越えて取り組む!!



PM2.5の 抜本対策



福岡出身のおにき誠(前)環境大臣政務官は、地域の深刻な問題であるPM2.5の抜本的な対策に乗り出しました。「他国で発生する汚染物質だからしょうがない」と諦めるのではなく、政治の責任において抜本解決の道筋を追求しました。東アジアの関係諸国と協力して大気汚染対策を進めるため、おにき政務官の強いリーダーシップにより対策プロジェクトが立ち上がりました。

省庁を 越える



子供やアスリートが屋外で思い切り運動できる環境を作るため、またPM2.5が人体に与える影響を正しく把握するためには、省庁を越えた取り組みが必要でした。おにき政務官の呼びかけで各省政務官が連携し、省庁の壁を越えた枠組みを作りました。この取り組みは**青空回復プロジェクト**と名付けられ、環境省が主幹事となり、外務省・厚労省・文科省の共同で進められています。

国境を 越える



さらにこのプロジェクトは、国境を越えた環境改善へと動き出しました。公明党の濱地雅一外務大臣政務官(当時)と協力して中国政府に働きかけを強めました。政府二国間の外交テーマにPM2.5問題を載せ、中国の環境改善の取り組みを後押ししています。中国の陸浩環境委員長が来日し環境省のおにき政務官を訪ねるなど、環境改善に向けた相互協力は加速しています。

環境のおにき、世界を舞台に大活躍!!



ASEAN+3 環境大臣会合に
参加(平成27年11月ベトナム・ハノイ)



温泉地保護利用推進室を
立ち上げる(平成27年12月)



熊本地震、復旧復興の現地視察
(平成28年5月)



COP21に参加
(平成27年12月フランス・パリ)



環境大臣政務官として
国会答弁(平成28年2月)



G7 富山環境大臣会合に参加
(平成28年5月富山県)

自然環境
保護



豊かな自然や生物の多様性を次世代に残すことは、環境省の重大なミッションです

地球温暖化
対策



持続可能な地球環境を次世代につなぐため、世界規模での温暖化対策に取り組んでいます

動物愛護



人とペットが共に豊かに暮らせる社会を。動物殺処分ゼロを目指しています

国立公園の
充実・管理



安倍政権の目玉、観光振興において「国立公園満喫プロジェクト」を立ち上げました

公害対策



環境省の原点は公害対策です。水俣病はじめアスベストなど公害対策に取り組んでいます

廃棄物・
リサイクル



ごみや尿尿の処理、また福島第一原発由来の放射性廃棄物処理なども環境省の仕事です

未来につなぐ
仕事

地元福岡のみなさまに国政へと押し上げていただき、おかげさまで昨年10月から今年8月まで環境大臣政務官という政府の役職を務め上げることができました。丸川珠代環境大臣(当時)を補佐し、取り組んだ環境の仕事は大変やりがいのあるものでした。日本はかつてのオイルショックや公害を克服し、世界でも有数の省エネ

と環境技術を確立してきました。地球温暖化対策が世界規模の課題となった今日、私たちは環境と経済を両立し、次世代に豊かな日本をつないでいかなければなりません。「先人が私たちに残してくれた素晴らしい国を、より豊かで持続可能なものにして未来につないでいく」……それが、政治を通じて私が取り組んでいる仕事です! 今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

衆議院議員

鬼木 誠



おにき誠プロフィール

- 昭和47年10月、福岡市生まれ
- 田島小学校(城南区)卒
- 当仁中学校(中央区)卒
- ラ・サール高校(鹿児島)卒
- 九州大学法学部卒

- 平成7年 西日本銀行入社、渡辺通支店、大名支店を経て、平成14年同社を退社
- 平成15年 福岡県会議員に初当選。以後、3期10年務める
- 平成24年12月 衆議院議員に初当選
- 平成26年12月 再選
- 平成27年10月 環境大臣政務官就任

- ホームページ www.onikidon.com
- makoto@onikidon.com
- フェイスブック [@office.onikidon](https://www.facebook.com/office.onikidon)

